

令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和 6年 4月10日

団体所在地 世羅郡世羅町大字小国 4495-1

団体の名称 世羅町立せらにし保育所

職・氏名 所長 山本 奈緒子

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・近くの消防署に咲いているチューリップの見学に徒歩で行く。
・近くの八幡神社や広場へ散歩。(七草探し・草花つみ)
・菜園活動(畑作り・苗植え)

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・菜園活動(収穫)
・どろんこ遊び
・プール・水遊び・色水遊び
・虫探し・虫捕り

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・裏山あそび(ドングリなどの木の実ひろい・木の枝・葉っぱで遊ぶ・山で見つけたものでアレンジメント・ターザンロープ・ロープにぶら下がる・木登り・木の実ころがしなど)
・夢公園に遠足(芝滑り)

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・雪遊び(雪玉作り・雪だるま・雪でままごと・雪でいろいろな形づくり・滑って楽しむなど)
・自然保育アドバイザー研修(自然物を使った冠・朴葉のお面・つるで髪飾りや帽子の作り方を教わる・ドングリを竹の筒の樋で転がすなど)

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

3歳未満児の子どもたち。

暖かくなってくると色々な虫が出てきて毎日、毎日虫探しが始まります。

今はだんごむしの集団を見つけて、二人でつかまえている所です。

捕まえただんごむしは赤いバケツに葉っぱなどを入れてその中にいれて、持ち歩きます。

小さい子どもたちもだんごむしなら触れることが出来ます。

「大きいね」「小さいね」「いっぱいおる」「〇〇くんもほしい」「ここにもおるよ」など言葉もたくさん出てきます。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

暑くなりはじめると、水を使った遊びが始まります。

バケツで汲んだり、ホースで直接入れてみたり、いろいろな道具を使いどろんこ遊び・水遊びをしていました。

水が苦手な子も、水鉄砲で遊ぶことで楽しくなり喜んでプール遊びもするようになりました。

またあそぶ中で、子どもたちはお家にもある空き容器（マヨネーズ・カップなど）を自分で用意して持ってくる子もいました。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

保育所の裏山にあるあそび場では、全クラスが行って遊びます。

小さいクラスの子は、坂になっているので始めは不安がって手をつないでいますが、慣れてくると転んでも大丈夫。どんぐりを見つけたり、転がしたり、葉っぱを拾ったり、と好きな遊びをしていました。

大きいクラスの子がしている事をまねて、竹の樋にどんぐりや木の実を見つけては、転がして何度もやっていました。

大きいクラスの子たちは、友だちと樋の組み合わせ方を色々やってみては、「いかんねえ？(転がらない)」「これだったら？」「おちんかったね(樋の外に)」「とまるよ(樋の間にどんぐりが挟まる)」。やってみては修正していました。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

- ・1月15日自然保育アドバイザー研修を受ける。
- ・全クラスで裏山まで散歩に行き、道端にある葛のつるに顔を見つけたり、つばきの葉っぱでメガネを作ってもらったり、落ち葉を新聞紙の帯につけて頭にかぶったり。アドバイザーの先生にリクエストして、帽子や髪飾りも作ってもらっていました。
- ・少し暖かい日で、枯葉の下からミミズが出てきたので、枯葉の布団を用意したり、根っこがトンネルのようになっていた所にミミズを通らせてみたりしていました。
- ・保育士はつるの編み方も教えていただきました。
- ・自然遊びでは、はさみ、テープ、新聞紙などの用具も持参すると良いことも教えていただきました。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

自然保育のアドバイザーさんに来て頂いて、保育の中での自然遊びの研修を受けた。

- ・ 地域との関わりについて

地元の JA 女性会の方と一緒に菜園活動(苗うえ・収穫)をした。

- ・ 保護者との関わりについて

保育所での菜園活動をして、野菜の生長を一緒に見てもらう。

保育参観日に「自然であそぼう」というテーマで自然遊びを一緒に体験してもらう。(雨の為実施なし)

- ・ その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

URL	
-----	--